

平成26年3月12日

駅係員と乗務員の制服を一新します

～「信頼と安心」、「お客様の安全を守る責任」をデザインに～

近鉄では、運輸営業を開始してから平成26年(2014年)4月30日で100周年を迎える※にあたり、駅係員と乗務員の制服を一新します。

新しい制服は、規律正しい印象と、信頼感と安心感をお客さまに持っていただけるよう、濃紺をベースとしました。また、従来の駅係員・乗務員ごとに異なる制服を統一することで「私たちが一丸となってお客様の安全を守る」という責任を表現しています。

駅係員の制服は10年ぶり、乗務員の制服は7年ぶりの変更となります。安全・安心を確保するとともに質の高いサービスを提供することで、これまで以上に皆様に愛され信頼される近鉄を目指します。

なお、新しい制服の詳細は、別紙のとおりです。

※当社の母体は、明治43年(1910年)9月16日に設立された奈良軌道(株)で、大阪電気軌道(株)に改称後の大正3年(1914年)4月30日に現在の奈良線大阪上本町～近鉄奈良間が開業いたしました。



別紙

新制服の概要

1. 変更日 平成26年3月21日（金）
2. コンセプト
「信頼と安心」
「お客様の安全を守る責任」
3. デザインの特徴
 - 規律正しい印象と、信頼感と安心感をお客さまに持っていただけるよう、濃紺をベースとした制服としました。さらに近鉄のシンボルカラーである「近鉄ブルー」をスーツのストライプ、ネクタイ、リボンに採用し、帽子の縁には大手鉄道会社では他社にない白のラインを入れ、「近鉄らしさ」も表現しました。
 - 駅係員、乗務員の制服を統一し、「私たちが一丸となってお客様の安全を守る」という責任を表現するとともに、上着袖口のラインの本数や、名札の色調等を変えることで、ひと目でお客さまに職責が伝わるようにしました。
 - 夏服には、クールビズが長期化している傾向を踏まえて、ネクタイの有無に係わらず規律正しさを兼ね備えたボタンダウンシャツを採用しました。

夏服写真



名札写真



以上